

## 【展覧会概要】

### 展覧会名：

なら歴史芸術文化村滞在アーティスト誘致交流事業  
後期アーティスト大西健太郎 公開制作  
大西健太郎 手レ読むダンス

作家名： 大西 健太郎

会期： 2022/11/23～2022/12/11

時間： 10：00～17：00

休廊日： 月曜日

### 主催：

なら歴史芸術文化村滞在アーティスト誘致交流事業実行委員会  
(なら歴史芸術文化村・天理大学・天理市)

### 展覧会概要：

ダンサーの大西健太郎による即興パフォーマンス「手レよむダンス」の新作公演を、なら歴史芸術文化村と天理市内の路上（予定）の2会場で開催します。「手レよむダンス」は、大西が手話をもとにした詩の朗読表現「サインポエム」から着想を得て、手の表情や動きを介し、言葉の領域ではアクセスできない世界とつながり、もっと遠い時空間と交信をしようと試みる行為です。

大西は約2カ月半にわたる文化村での滞在制作のなかで、奈良の「時間」「風景」「食」「作業」をモチーフにして、さまざまな場所や人々を訪れ、踊りの譜面となる「手レ譜」を墨で宇陀紙に描き続けてきました。これらの「手レ譜」に描かれた線や形が手でなぞられ、踊りへと展開されてゆくパフォーマンスを目にするとき、言葉としての意味が生じる手前の、分がちがたく渾沌とした景色のなかに、私たちは何を感じとるのでしょうか。

### 作家プロフィール：

大西健太郎 OHNISHI Kentaro

1985年生まれ。その場所・ひと・習慣の魅力を発掘し、それらと出会う過程を通じて「ころがおどる」風景を舞台としてパフォーマンス作品を制作する。住まう地域、国、言語、世代、障がいの有無など、異なる背景を持つ「他者」との協働を軸として制作過程を含めた参加型のパフォーマンスプロジェクトを行う。

文化村での活動の様子

<https://sites.google.com/view/narabunkamura-air2022>

【来場者数：30名（1日当たり1.8人来場）】

【公開制作の様子】



【天理本通り商店街での成果発表の様子】 12/11（日）のみ、43名来場





※商店街成果発表の写真提供：なら歴史芸術文化村  
撮影：衣笠名津美